

電算システム

金融機関が担保にした借入人の売掛債権

# 請求・収納を代行

## フィンテック企業と開発

電算システムは29日、フィンテックベンチャーのTranzax(トランザックス、東京都港区)と共同で、金融機関が融資する際に担保にした借入人の売掛債権の請求・収納を代行するサービスを開発したと発表した。売掛債権を電算システムが代行して回収することで、借入人は経理の合理化と資金調達の円滑化が図れ、金融機関は売掛先から直接融資を回収できて与信保全になる。独立系の収納代行サービス企業とフィンテック企業が組み、同様のサービスを行うのは全国で初めて。

(鈴木隆宏)

トランザックスは日本に5社ある国から電子記録債権業の指定を受けた電子債権記録機関。同社のシステムを活用し、電算システムが複数の売掛先に請求して借入人に代行して回収し、

金融機関に入金する。システムで請求・入金状況も常時把握できるため、金融機関は与信管理もしやすいメリットもある。また売掛先は直接金融機関に振り込まないで請求・収納代

行業の電算システムを通して入金するため、借入人の経営状況に対する不安も軽減できる。10月から関東地域で第1号案件を実施。同サービスは同案件に合わせて開発し

たものため、今後、より一般化してパッケージ化し、他の地方銀行や信用金庫などに売り込む考えだ。